

たけうち しんいち
竹内 伸一

Takeuchi Shin-ichi



人間生活学部 児童学科 教授

研究者略歴

| | |
|---------|--|
| ○生年月 | 1964年4月 |
| ○学歴 | 早稲田大学教育学部国語国文学科卒業（1988.3） 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了（2002.3） 慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学（2011.3） 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了（2015.3） |
| ○学位 | 文学士（早稲田大学/1988.3） 修士（経営学）（慶應義塾大学/2004.3） 博士（教育学）（広島大学/2015.3） |
| ○主な職歴 | マツダ株式会社（1988.4） 株式会社ケースメソッド教育研究所代表取締役（2004.3） 慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究助手（2006.10） 同特別研究講師（2007.10）同特任准教授（2011.4） |
| ○専門分野 | 教育学（教育哲学・教育思想史・教育方法学・教育経営学）、経営学（組織行動学） |
| ○所属学会 | 日本教育学会、教育哲学会、教育思想史学会、教育方法学会、教育経営学会 高等教育学会、大学教育学会、日本マネジメント学会、経営行動科学学会、ほか |
| ○担当授業科目 | 教育原理、道徳教育、社会教育計画ⅠⅡ、人間形成学特論ⅠⅡほか |
| ○現在の研究 | ケースメソッド教育、能動的学修、教学マネジメント、専門職教育実践 |

主な業績

| | |
|-----------------|--|
| ○主な学会 ・社会活動等 | ① 「学習者の信頼獲得に向けての省察--改めて経営教育の不確かさを問うてみる--」『課題研究：哲学生成の現場としての教育実践--教育哲学のフロンティア(3)』教育哲学会59回大会（於東京大学）(2016.10)【招待講演】。 ② 「ケースメソッドという難課題--ビジネス教育での成果と反省から」『課題研究：教師教育における事例研究の教育方法学的検討--「アクション・リサーチ」や「ケース・メソッド」の可能性と課題--』日本教育方法学会第52回大会（於九州大学）(2016.10)【招待講演】。 ③ “Criteria for Effective Case Method Education as Organizational Practice -- Historical and Participant Observation Study Results --”, <i>Association of Asia and Pacific Business Schools/Keio Business School Case Workshop</i> , Keio University, Yokohama, Japan(2016.7)【Invited Lecture】。 ④ 日本ケースセンター「ケースメソッド研究会」座長（2014.8）【委嘱】。 ⑤ JOC（日本オリンピック委員会）ナショナルコーチアカデミー講師（2012.8）【委嘱】。 |
| ○主な研究論文 ・著書等 | ① 「社会人学生の信頼獲得をめぐる省察--学問的専門性と知的探求態度との間で--」『教育哲学研究』第115号、35-40頁、教育哲学会、2017年。 ② 「教職課程科目『道徳教育（指導法）』をいかに教授するか--『特別の教科 道徳』をケースメソッドで教える教師の養成可能性に焦点を当てて--」『教育学研究紀要（CD-ROM版）』第62巻、701-710頁、2017年（共著）。 ③ 「イノベーション社会に資する教育学の射程--進みゆく『責任の個人化』に備えたセーフティネットとしての教育新構想--」『慶應経営論集』第33巻第1号、133-147頁、2016年。 ④ 「ケースメソッド教育のアプローチを活用した道徳教育の可能性--教材の開発とそれを用いた授業の検討--」『静岡大学教育研究』第11号、59-74頁、静岡大学教育学部、2015年（共著）。 ⑤ 「能動的学修を可能にするケースメソッド教育の実現過程--高等教育の事例から--」『教育学研究ジャーナル』第15号、21-30頁、中国四国教育学会、2014年。 ⑥ 「ケースメソッド教育の実践を支える組織的サポートに関する研究--ハーバード・ビジネス・スクールと慶應義塾大学ビジネス・スクールの事例から--」『広島大学教育学研究紀要』第三部第62号、69-78頁、2013年。 |